

＼帰ってきた！

予算1万円/
M.E.スタッフ
買い物対決

今月のテーマ

スパークリング

撮影●島本一男 文●編集部

ウケる泡モノ、勝つのは日本か、はたまたインド!? スパークリング対決

マエストロの舌が認めた珠玉の逸品をこそそり教えてたく逸品をこそそり
教えていたたトロの舌がめた珠新連載の始まりです。自分で食すも◎よし、新連載のまりです。

戦いの掟

- 一、買うものは、1万5000円(税抜)以下にすべし
- 一、勝敗は編集部員全員の投票で決定すべし
- 一、中古品、一点モノ以外にすべし



大人のオシャレは“品”と“格”
シックで上質なファッションを中心に、
こだわりのライフスタイルを提案する雑誌

2012/6/6 発売

MEN'S Ex
2012年7月号に掲載!

寺ち寄り泡モノ対決!
“インドのドンペリ”で
つかみはOKでしょ!
M.E.編集長 道面和敬

買ったモノ
スラ・ヴィンヤーズの
NVブリュット



オープン価格
(実勢価格1800円前後)

知る人ぞ知る
インドの気鋭ワイン

米国シリコンバレーでのIT事業で成功を収めたインド出身のCEOが、97年に故郷に戻りワイナリーを開業。たちまち話題となり、仏国ではアラン・デュカスによる三ツ星レストラン「ルイ・キャーンズ」を始めとする超一流店で採用。今や“インドのドンペリ”とも称えられる。(出水啓事)

必殺技 “インド”ってだけで
意外性&旬感抜群!

パーティに持って行けば、インドの高級ワインって何げというサプライズで盛り上がる。軽やかで蜜のような味わいは、カレーやタンダーチキンなど、軽いスパイスのきいたアジア料理に相性抜群だ。

必殺技 仏三ツ星レストランも
認めたハイクオリティ

上述の「ルイ・キャーンズ」を始め、同三ツ星の「タニエル」、二ツ星の「ラトリエ・ド・ジョエル・ロブション」など、世界の超一流ホテルでオアシスとしていというから驚き。品質は折り紙つきといわれている。

判定

5対4/
僅差ながらも
編集長が面目を死守
女子自線を前面に押し出した甘利。モチを意欲した男性龍氏からの票を得るも、経済の「インド」連呼で話題性を強調した編集長・道面が、最終的な勝利をもち取った。

道面 今回の相手は編集部 の香
み助・甘利か。手こわいな
ヤ。ちよつとやめてくださいよ
センパイ(泣)。まともな選んでも
勝てる気がないので、ワタクシ
は女子ウケと意外性で勝負です。
道面 あー、これ面白いね。
甘利 今、日本酒が好きな女性
って結構多いからね。コレなら
お酒落だし、乾杯にもぴったり。
男性がこれを持ってきてくれたら
センスいいなって思っちゃいます。
道面 キリッとして、清酒な
らでは魅力もありません。製法も
本格派だから女人ウケもいい。で
悪いけど俺も意外性で勝負なんだ
甘利 この太陽のロコ、南アメリ
カ……じゃない、インドですか?
道面 珍しいですよ。ワイナリー
も開業して10年くらいなのに、今
や世界中の名店で採用。あまりの
勢いに「インドのドンペリ」ん
って通り名がつくほどなんだぜ。
甘利 (飲んでみて) コクがあるの
に飲みやすいですね。値段もお
手ごろ。今回の上限額じゃ、10本
も買っちゃうじゃないですか。
道面 カレーにもよく合うんだよ
(笑)。ワイン会からカレーパ
ーティまで、夏の集いの決定打だね。
甘利 イイなあ。編集長、次は一
緒にワイン特集、やりませんか?

必殺技 “インド”ってだけで
意外性 & 旬感抜群

必殺技 仏三ツ星レストランも
認めたハイクオリティ

◆知る人ぞ知るインドの気鋭ワイン◆
米シリコンバレーでの IT 事業で成功を収めたインド出身の
CEO が、97 点に故郷に戻り開業。たちまち話題となり、仏
国ではアラン・デュカスによる三ツ星レストラン「ルイ・キャーンズ」
を始めとする超一流店で採用。今や“インドの〇ンリ〇ニ〇ン”
と称えられる。(142 ページに掲載)